

新エネルギー設計支援事業

令和5年度（2023年度）認定事業計画概要

◆ 補助事業名	木質バイオマスボイラー導入実施設計
• 補助事業者名	厚岸町
• 所在市町村名	厚岸町
• 補助金額	概算事業費 : 3,410,000円 補助金要望額 : 1,705,000円
• 事業概要	令和6年度に実施予定の厚岸町温水プールへの木質バイオマスボイラー設置に向けての実施設計 森林資源の有効活用やエネルギーの地産地消といった観点から、まずは温室効果ガスだけではなくランニングコストの削減も期待できる施設である、温水プールへの木質バイオマスボイラーの導入し、館内暖房やプールの加温を行う。

◆ 補助事業名	町立知内高等学校木質バイオマスボイラー導入工事実施設計事業
• 補助事業者名	知内町
• 所在市町村名	知内町
• 補助金額	概算事業費 : 3,740,000円 補助金要望額 : 1,870,000円
• 事業概要	これまで本町では、「しりうちゼロカーボンシティ宣言(R4.3宣言)」の実現に向けて、豊かな森林資源(町面積の約81%が森林面積を占める)から創出される林地未利用材等を活用して、公共施設(役場庁舎・町民プール・スポーツセンター・知内町中央公民館へ4施設2基導入)に木質バイオマスボイラー導入を進め、年間285トンの(4施設総計)の二酸化炭素排出量の削減に至っている。 本事業は、その取組の一環として、町立知内高等学校長寿命化改修工事に伴い、暖房設備を「重油ボイラー」から「木質バイオマスボイラー」への改修を行うために必要な実施設計である。

新エネルギー設計支援事業

令和5年度（2023年度）認定事業計画概要

◆ 補助事業名	公共施設への自家消費型太陽光発電の設備導入に向けた調査及び基本設計
・ 補助事業者名	富良野市
・ 所在市町村名	富良野市
・ 補助金額	概算事業費 : 12,000,000円 補助金要望額 : 4,720,274円
・ 事業概要	<p>富良野市は、「2050年ゼロカーボンシティの実現」を宣言（令和3年）しており、その道筋を示す「富良野市脱炭素ロードマップ（令和5年4月）」では、5つの取組の柱や、2030年までに進めるべき主な取組・施策などを記している。</p> <p>今回の補助対象事業は、この脱炭素ロードマップに基づくものであり、市公共施設への自家消費型太陽光発電設備の導入に向けた、施設毎の必要導入量調査、施設毎の設備設置可能面積調査、設置可能な施設選定とパネル規模算定、PPAによる導入可能施設調査の調査及び基本設計である。</p>

◆ 補助事業名	排雪利用型雪氷冷熱エネルギー活用システム導入設計事業
・ 補助事業者名	雪冷房コンソーシアム （社会福祉法人北海道博愛舎、夕張市）
・ 所在市町村名	夕張市
・ 補助金額	概算事業費 : 5,924,000円 補助金要望額 : 2,962,000円
・ 事業概要	<p>社会福祉法人北海道博愛舎は、身体障がいや知的障がいを持つ方を対象に3施設を運営しており、日中活動の場として、クリーニング全般の作業等の提供を行っている。</p> <p>クリーニング作業で使用する乾燥機やプレス機等には、ボイラー(蒸気圧)が必要なことから、作業場は相当室温が上がるため、これまで数台のスポット冷房設置で対応していた。</p> <p>しかし近年の夏季の気温上昇もあり、より良い作業環境や居住空間等の改善を図るため、今回、雪氷冷熱エネルギーを利用した冷房システムを空調として導入するための設計を行う。</p>

新エネルギー設計支援事業

令和5年度（2023年度）認定事業計画概要

◆ 補助事業名	稚内市新庁舎建設における地中熱設備導入調査事業
• 補助事業者名	稚内市
• 所在市町村名	稚内市
• 補助金額	概算事業費 : 8,899,000円 補助金要望額 : 4,383,500円
• 事業概要	<p>昭和42年に建設された市役所本庁舎は、50年以上が経過し老朽化が進み、令和7年秋の供用開始に向け改築（建て替え）を行うことが決定。</p> <p>新庁舎は「環境都市わっかない」や「ゼロカーボンシティ」のシンボルとして、断熱性能の向上や自然採光による低負荷な建築、ZEB-Readyの取得とともに、太陽光発電や地中熱などの再生可能エネルギーの利用を図ることとしている。</p> <p>今回の補助対象事業は、新庁舎の空調の熱源として温度が一定な地中熱の利用を予定しており、その導入に向けた採熱応答試験が該当。</p>

◆ 補助事業名	(仮称) 児童センター等一元化施設新設工事 地中熱利用設備導入調査事業
• 補助事業者名	歌志内市
• 所在市町村名	歌志内市
• 補助金額	概算事業費 : 7,920,000円 補助金要望額 : 1,980,000円
• 事業概要	<p>歌志内市では、東光児童館、神威児童センター・学童保育室、市民体育館（多目的ホール）、図書館などの機能をあわせ持つ、一元化した複合施設を、歌志内学園（義務教育学校）の敷地内に整備する予定。令和4年度に行った基本設計では、地中熱ヒートポンプの導入を検討しているが、市内ではこれまで地中熱利用の実績がなく、地中熱の賦存データが不足していることから、今回の補助事業により事前調査を行い、調査で得られたデータをもとに、地中熱交換井（ボアホール）の本数を決定し、実施設計へ反映させる。</p>